

同志會

播市に於ける大―テ―の記事は更に無く九日
 昨十日夜同志會の人々が大演説會を尾催する
 との記事あるのみを以て筆者は僅か案外の思ひ
 で何となく大―テ―は何等かの事懐て取り罷
 めて居たかとのかとの豫感を抱つて若くは後直ち
 に同志會本部に渡邊範一君を訪問し同君の病
 氣の通さぬに同君は病氣と云ふよりを鈴木勝
 働代表の來帰以後數日間の奔走の爲めの疲勞
 あるらしく同君の談によれば本日の大―テ―
 は警察の干渉の爲めに中止せられたる由―是に

1020 下五特製

又

鈴木文流
 末端
 同志會

干する詳細なる報告は大―テ―に關する報告
 中にありませう―鈴木代表の來帰時の労働者の
 氣勢は振作的のものより同志會の會員の妙き
 ところの加爲めに一升以上増加し此社會に
 於ける生産者とこゝ自らの地位を自覺せる真
 より視るも一大進歩を招來せるものもあ
 り元來同志會の方針は總同盟系の如く直接行動
 に依つて進むのには大く寧ろ協動的に労働者
 の利益を―歩―歩増進するのこ機軸鉄工組合
 から甲視せば先づは労働運動の歴史をさぐるは